

月の天候の内容と資料の見方

1 気象概況

月および旬の天候の特徴と、顕著現象発現時にはその旨を述べる。

2 日々の気圧配置

県内の天気に影響を及ぼした低気圧や高気圧など、日別の気圧配置の特徴を述べる。

3 気象統計値

仙台、石巻の月および旬ごとの平均気温・降水量・日照時間と
平年差・比、階級区分を掲載する。

4 気象経過図

県内主要アメダス地点の、日平均気温・日最高気温・日最低気温・日照時間の日合計値・日降水量と、これらの平年値の日別グラフを掲載する。

5 気象分布図

県内の各アメダス地点の、月平均気温・月降水量・月間日照時間と平年差・比を掲載する。また、11月から4月までは月最深積雪と平年比を掲載する。

資料の見方

(1) 各要素と平年差・比

要素と単位	内容 (かっこ内は最小位数)
平均気温(°C)	日平均気温は、毎正時の観測値 (24回) の平均値 (0.1) 旬平均気温・月平均気温は、日平均気温の平均値 (0.1)
降水量(mm)	日、旬または月の降水量合計 (0.5) 「0.0」は降水量0.5mm未満、「-」は降水なしを示す アメダスにおいては、「0.0」は降水なしも含む
日照時間(h)	日、旬または月の日照時間合計 (0.1)
月最深積雪(cm)	日最深積雪の中の最大値 (1) 日最深積雪は、毎正時の観測値 (24回) の中から最大値を求める
平年差(°C)／比(%)	平均気温は平年値との差 (0.1) 降水量・日照時間・月最深積雪は平年値との比 (1)

記号の意味

値) : 準正常値

統計を行う対象資料が許容範囲(20%以内) で欠けている場合を示す。

値] : 資料不足値

統計を行う資料が許容範囲を超えて欠けている場合を示す。

× : 欠測

休止や測器の故障等により統計値が得られない場合を示す。

(2) 平年値と平年差(比)の階級表現

平年値は寒暖などの目安として使われる値で、10年ごとに更新される。現在使用している平年値は1991～2020年の資料から算出した値である。

平年値は通常30年間の観測資料から計算されるが、観測地点の新設された場合や、観測場所や観測測器の変更等により統計が切断となった場合でも8年以上の観測があれば平年値を算出している。

階級区分は「低い(少ない)」、「平年並」、「高い(多い)」の3階級で、それぞれの統計期間内における資料の出現率は同じ割合(1つの階級が33.3%)となる。また、低い(少ない)方または高い(多い)方から出現率10%の範囲を、それぞれ「かなり低い(少ない)」、「かなり高い(多い)」と表し、補足的に用いる。

基準	用語	低い (少ない)	平年並	高い (多い)		
	出現率	33.3%	33.3%	33.3%		
		かなり低い (少ない)10%		かなり高い (多い)10%		
階級値	A	B	C	D	E	F
階級区分の範囲	値 ≤ B	B < 値 ≤ C	C < 値 ≤ D	D < 値 ≤ E	E < 値	

Aは統計期間中（1991～2020年）の最低（少）値、Fは最高（多）値。

なお、階級区分値を求めるための統計期間内の資料の分布に偏りがある場合は、平年値が階級区分の平年並に属さないことがある。

例) 仙台の1月上旬の降水量の階級区分

かなり少ない ≤ 0.0mm < 少ない ≤ 2.7mm < 平年並 ≤ 10.7mm < 多い ≤ 34.0mm < かなり多い
平年値「11.7mm」は階級区分では「多い」となる。（統計期間 1991-2020年）